

平成29年度実施事業

男女共同参画実施計画事務事業評価表

名寄市

男女共同参画実施計画事務事業評価について

評価対象事業全75事業の内、平成30年度は、平成29年度実施の19事業について評価を行った。

残り56事業については次年度評価予定。

区 分	順調に取り組まれている	概ね順調に取り組まれている	より積極的な取組をお願いする	早期に取り組む必要がある	統合事業	計
評価対象実施事業数	10	5	3	0	1	19
	52.6%	26.3%	15.8%	0.0%	5.3%	100.0%
基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	3	1	0	0	0	4
基本目標Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画社会の推進	2	3	2	0	0	7
基本目標Ⅲ 安全で安心して暮らせる環境づくり	5	1	1	0	1	8
合 計	10	5	3	0	1	19

●達成度
A 達成した
B おおむね達成した
C 達成できなかった
D 実施できなかった

●評価
3点 順調に取り進んでいる
2点 おおむね進んでいる
1点 より積極的な取組をお願いする
0点 早期に取り進める必要がある

●事業の方向性
1 より充実を目指す
2 現状維持
3 内容見直し
4 統合
5 縮小
6 廃止・休止
7 完了
8 その他

●評価
3点 順調に取り進んでいる
2点 おおむね進んでいる
1点 より積極的な取組をお願いする
0点 早期に取り進める必要がある

●事業の方向性
1 より充実を目指す
2 現状維持
3 内容見直し
4 統合
5 縮小
6 廃止・休止
7 完了
8 その他

●評価
3点 順調に取り進んでいる
2点 おおむね進んでいる
1点 より積極的な取組をお願いする
0点 早期に取り進める必要がある

●事業の方向性
1 より充実を目指す
2 現状維持
3 内容見直し
4 統合
5 縮小
6 廃止・休止
7 完了
8 その他

事業No.	通し番号(年度)	基本目標No.	主要施策	基本事業	個別事業	担当課	事業概要説明(事業実施担当課)		第1次評価(WG評価)		外部評価(推進委員会評価)		最終評価(推進会議評価)				
							達成度	事業説明及び状況	事業の方向性	意見等	事業の方向性	意見等	事業の方向性	意見等			
1	1	I	I-1男女の人権の尊重	I-1-①啓発活動の充実	広報なよろ等による啓発	企画課	A	毎月広報に男女共同参画に担当ページを持ち、市民へ啓発を行っている。	3	1	現状既に男女共同参画の課題について取り上げており、方向性は良いが、今後市民が、意見を述べる機会を設けるなど、参加できる内容を加えたらなおよい。	3	2	・毎回記事があり、広く周知されている。今後も続けてほしい。 ・必要に応じて回覧、チラシ等の活用との併用も必要かと思う。 ・WG評価と同様	3	1	1次評価のとおり
2	2	I	I-1男女の人権の尊重	I-1-①啓発活動の充実	セミナー等の開催	企画課	B	昨年度は講演会参加者81名、グループ討議30名の参加であった。	3	2	・著名人を講師に招いたり、開催時間の工夫等があればより多くの参加者が見込まれるので、今後に期待する。	3	2	・参加人数が増えており良い。講師が著名人であり、参加する人数が多いことは良い。 ・数値目標達成に向けてWG評価の通り工夫が必要かと思う。 ・一人の講師を呼んで行うセミナーだけではなく、シンポジウム形式、前年度と繋げる工夫、町内会を巻き込み、など一方的ではなく、また単発で終わってしまうことのない事業展開が望まれる。 ・今回の講師がとも良かったので、2〜3年継続してお願いするのも良いかと思う。継続することで方向性が見えてくる。 ・セミナー開催に併せて男女共同参画推進事業者等表彰を行うと趣旨・波及効果があるか考える。また、表彰について市民への周知を工夫されるとういことかと思う。 ・イオンや大学など元々人が集まっている場所で開催することでより多くの人にセミナー参加してもらえらると思われる。 ・著名人を招くのは集客のための1つの方策だが、男女共同参画セミナーとしてのテーマ設定や、グループ討議を充実したものにしてゆくことも重要だと考える。	3	2	1次評価のとおり
3	3	I	I-1男女の人権の尊重	I-1-①啓発活動の充実	パネル展の開催	企画課	A	男女参画推進週間にパネル展をよろ一などで開催し市民啓発を行った。	3	1	人の目に触れるという点では順調に取り進んでいる。講演会等と一緒にパネルの展示を行うことで、市民の目に触れる機会を増やすこともできるのではないか。	3	1	・開催場所が「よろ一」のため、名寄せと風連では目に触れる機会に格差がある。 ・待ち合わせやまったく興味がない人へも潜在意識に訴え、目につく方法が良い。 ・パネル展の場所、期間の工夫により認知度が向上すれば良いと思う。 ・よろ一を利用している人は限られているのではないかと思う。(バス・電車を日頃から利用する人)パネルを見てもらうだけでなく、市民も参加できるパネル(意見を貼り付けてもらうなど)があるとういのではないか。 ・WGの評価通り、機会を増やしてほしい。	3	1	・より多くの市民に触れるような工夫に努めていく。
4	4	I	I-1男女の人権の尊重	I-1-①啓発活動の充実	広報なよろホームページによる啓発	営業戦略課	B	市HPの「雇用・労働に係る相談について」のページで、「男女雇用機会均等、育児・介護休業などに関する相談」の項目として相談先を周知しています。広報での「雇用・労働」に係る相談については、紙面の関係で男女共同参画関係の記載はできていません。	2	2	ホームページでの周知は出来ているものの、広報による周知は出来ていない状態にあることですので、まだ改善していく必要がある。またホームページより広報の方が多くの人の目に入るかと思うので、活用するべき。	2	2	・インターネット上では良い情報はなかなか浸透しにくい。メリットある情報発信も増やしてみてもいい。 ・ホームページのほか広報・回覧・チラシ等で周知してよいのではないか。 ・ホームページは用事がないと開かないと思うので、幼稚園や病院などより多くの人の目にとまる場所での周知も重要だと思われる。 ・一次評価は適切です。今後の発信力の期待します。 ・ホームページの「雇用・労働に係る相談について」などは、掲載されているもの、どこに載っているのか大変わかりづらいです。雇用・労働に限らず、相談窓口を探しやすいような工夫を求めます。 ・WG評価と同様。	2	2	1次評価のとおり
15	5	II	II-1政策・方針決定過程への女性の参画拡大	II-1-①委員会・審議会等における女性委員の参画促進	委員会・審議会等における女性委員の参画促進	企画課	B	女性の委員目標値50%に対し29年度は42.5%となっている。目標値には達していないが前回の事業評価27年度30.7%から年々上昇している。今後も継続して周知を図っていく。	2	2	目標数値に届いていないもの年々上昇しているため引き続き周知を図っていく。	2	2	・数値を「見える化」して、広報などで周知されてはどうか。 ・委員の目標値は上がっていても、同じ人がかけもちしている現状は問題である。 ・男女関係なく意欲のある人をお願いすればと思う。 ・WG評価と同様。	2	2	1次評価のとおり
16	6	II	II-1政策・方針決定過程への女性の参画拡大	II-1-①委員会・審議会等における女性委員の参画促進	委員会・審議会等における女性委員長の登用	企画課	C	目標30%に対し、29年度は8.4%なので、次年度からは啓発を徹底していく。	1	2	目標にはとどいていないため評価は1とする。各種団体等に働きかけを継続していく。	1	2	・委員の女性参画率が向上している中で本事業の参画率の推移は重要である。 ・目標値と大幅に乖離しており啓発方法の見直しが必要と思われる。 ・各委員会への啓発活動だけで改善できるのか？簡単ではないが、何らかの強制力を持たさなければ改善しないと思われる。 ・男女関係なく意欲のある人をお願いすればと思う。 ・審議会の委員長等は多くは原則互選だと思いが、事務局提案などの形で積極的な働きかけができる場所もあると考える「各種団体等への働きかけ」がどのようにおこなわれているか、見直しが必要ではないか。	1	2	1次評価のとおり
17	7	II	II-1政策・方針決定過程への女性の参画拡大	II-1-②女性の役職などへの登用、職域の拡大	市職員における女性職員の職域拡大	総務課	A	・新規採用者女性比率 H27:32.00% H28:50.00% H29:42.1% ・女性受験率 H27:20.75% H28:24.24% H29:30.5% ・新規採用者女性比率がH29は42.1%と前年度に比べ低下したものの、男性よりも女性の合格率が高いことを考慮に入ると、男女問わず優秀な人材を任用することは達成されている。	3	2	平成29年度の合格率が男性より女性が多く男性優位になっていないことから、達成できている。 ・採用については好成績である。離職の状況は男女の比率等のデータがなく、職域拡大となっているのか判断つかない。 ・市民対応の窓口・訪問業務について、女性職員の対応が親身で丁寧であるとの声をよく耳にする。女性登用の環境づくりの一層の強化が望まれる。 ・男女の合格率を意識せず優秀な人材を採用すべき。 ・WG評価と同様。	3	2	・新規採用の女性職員が高校を訪れ在校生に仕事についてお話しするのも良いのではないか。 ・女性市職員の拡大と同時に、女性の立場向上・活躍が評価されることがやる気アップに繋がるのでは。 ・採用に関しては好成績である。離職の状況は男女の比率等のデータがなく、職域拡大となっているのか判断つかない。 ・市民対応の窓口・訪問業務について、女性職員の対応が親身で丁寧であるとの声をよく耳にする。女性登用の環境づくりの一層の強化が望まれる。 ・男女の合格率を意識せず優秀な人材を採用すべき。 ・WG評価と同様。	3	2	1次評価のとおり
18	8	II	II-1政策・方針決定過程への女性の参画拡大	II-1-②女性の役職などへの登用、職域の拡大	市職員における女性管理職の登用促進	総務課	B	・女性管理職の登用については、男女の区別なく実施するものであるが、年々女性の管理職登用率は増加傾向にあるものの、平成29年現在22.9%と、目標値の30%に満たない。	2	1	性別に関係なく適任者が管理職になることが望まれるが、目標数値を設定していることから、女性職員が管理職になるための育成や、管理職として働きやすい環境整備が望まれる。	2	2	・女性管理職の期待・やりがいもあると思う。しかし、仕事量の多さ、大変さが成り手が少ない理由ではないか ・No.7の離職率とも関連があるかもしれないが、男女ともに働きやすい環境かどうか重要な視点と思われる。 ・市民対応の窓口・訪問業務について女性職員の対応が親身で丁寧であるとの声をよく耳にする。女性登用の環境づくりの一層の強化が望まれる。 ・周知はされている。環境整備もそうだが女性の意識づけも大切である。 ・性別に関係なく、管理職に向いている人を登用すべき。目標数値が設定されていることに疑問を感じる。 ・WG評価と同様。	2	1	・研修等を通じた職員の育成や、働きやすい環境整備に努める
19	9	II	II-2家庭や地域社会における男女共同参画の促進	II-2-①家庭生活における参画の促進	市職員への周知	総務課	B	男性の配偶者出産休暇や、子どもの看護休暇などの取得については、一定程度の認知および取得がなされているものの、育児休業や育児参加休暇などについて男性の取得実績が乏しいことから、制度の周知と合わせ、配偶者のサポートを行いやすい職場づくりをより進める必要がある。	1	1	休暇制度などは一定程度周知しているものの、認知度や取得率が低く周知についてはまだ不十分である。また、制度を活かして取得できる環境づくりが必要であり、職場全体での理解や人員配置など、取得しやすい職場づくりが必要である。	1	1	・市職員が積極的に休暇を取らないと浸透しないので、職員が気軽にとれる制度であるべき。上司の考えと理解が必要ではないか。 ・休暇を取ると不利益になるというイメージがまだあり、取得した人の体験談があるとよい。 ・管理職自ら率先して休むことで部下も休暇を取りやすくなると思う。 ・男性の育児休暇取得について、休業中の職員確保と生活を維持する上で所得を一定程度補償される仕組み、あるいは若年職員の賃金の拡充が必要。 ・子育て当事者の多くはこの制度に関心を持っていると考えられるので、周知が不十分なことよりも、職場全体での理解、上司の理解など、休暇を取得しやすい環境づくりに努めてほしい。 ・WG評価と同様。	1	1	・休暇制度などを取得しやすい職場づくりに努める
20	10	II	II-2家庭や地域社会における男女共同参画の促進	II-2-①家庭生活における参画の促進	親子で参加できる教室・講座等の開催	生涯学習課	A	毎年度、家庭教育学級合同講座や家庭教育支援講座、子ども写生会、新春書初め広場を開催し、多くの親子が参加している。また、公民館講座市民講座でも親子での参加に絞った講座を開催している。 【H29実績】 ○家庭教育学級合同講座 保護者27人、子ども38人参加 ○家庭教育支援講座 保護者22人、子ども22人参加 ○子ども写生会 幼児31人、小学生48人、保護者3人作品提出 ○新春書初め広場 幼児8人、小学生19人、中学生3人作品提出 ※写生会と書初め広場では保護者も同行し、楽しい時間を共有 【H30実績】 ○家庭教育学級合同講座 保護者44人、子ども58人参加 ○家庭教育支援講座 保護者13人、子ども15人参加 ○子ども写生会 幼児26人、小学生45人、中学生1人、保護者4人作品提出 ※写生会では保護者も同行し、楽しい時間を共有 ○市民講座 親子でキラキラ☆ハーバリウム教室～夏編 保護者7人、子ども8人参加 ○市民講座 親子でキラキラ☆ハーバリウム教室～冬編 12/2開催 保護者13人、子ども16人申込(11/15現在)	3	2	行事の事前案内や開催の様子など、広報や新聞等で広く周知されており、また講座の内容も充実しており親子で参加できる環境づくりがされている。 またH29〜30実績から、参加人数も十分であり、今後も行事の企画や周知などを継続していくことが求められる。	3	2	・育児に参加する父親が増えてきているので、父親も参加しやすいイベントを望む。 ・親子にとらわれず、近所の高齢者との関わり方、共同作業に内容を変え、参加しやすい行事としてはどうか。 ・男女共同参画の視点で考えると参加人数の男女比が示されてもよいのではないか。特に保護者の男女比は参加する子どもに将来的には影響を与える。 ・楽しく活動している様子が周知されている。今後も継続した取組を期待している。 ・家庭教育講座など当初から親子での参加を見込め講座だけでなく、多様な講座、教室、講演等が託児つきで実施できるよう、引き続き検討を望む。 ・WG評価と同様。	3	2	1次評価のとおり

●達成度
A 達成した
B おおむね達成した
C 達成できなかった
D 実施できなかった

●評価
3点 順調に取り進んでいる
2点 おおむね取り進んでいる
1点 より積極的な取組をお願いする
0点 早期に取り進む必要がある

●事業の方向性
1 より充実を目指す
2 現状維持
3 内容見直し
4 統合
5 縮小
6 廃止・休止
7 完了
8 その他

●評価
3点 順調に取り進んでいる
2点 おおむね取り進んでいる
1点 より積極的な取組をお願いする
0点 早期に取り進む必要がある

●事業の方向性
1 より充実を目指す
2 現状維持
3 内容見直し
4 統合
5 縮小
6 廃止・休止
7 完了
8 その他

●評価
3点 順調に取り進んでいる
2点 おおむね取り進んでいる
1点 より積極的な取組をお願いする
0点 早期に取り進む必要がある

●事業の方向性
1 より充実を目指す
2 現状維持
3 内容見直し
4 統合
5 縮小
6 廃止・休止
7 完了
8 その他

事業No.	通し番号(年度)	基本目標No.	主要施策	基本事業	個別事業	担当課	事業概要説明(事業実施担当課)		第1次評価(WG評価)		外部評価(推進委員会評価)		最終評価(推進会議評価)				
							達成度	事業説明及び状況	評価	事業の方向性 意見等	評価	事業の方向性 意見等	評価	事業の方向性 意見等			
21	11	II	II-2家庭や地域社会における男女共同参画の促進	II-2-2地域・社会活動における参画の促進	町内会における啓発活動	企画課	B	毎年「町内会長・行政区長との行政懇談会」にて、男女共同参画の視点から女性役員の登用について配慮していただくようお願いしている。	2	2	引き続き周知を行い、女性役員に希望がある場合は登用について配慮してもらおう働き掛ける。	2	2	町内会役員に女性が登用されるかは地域性があり、自分の住む地域は女性登用される雰囲気はない。 ・女性が長生きしていることから活躍してもらいたい。 ・町内会は行政の下部組織ではなく、住民の自治的組織であることから、行政としては「お願い」に留まざるをえない。 ・やりたいと思う人に平等にチャンスがあればいいと思う。 ・WG評価と同様。	2	2	1次評価のとおり
40	12	III	III-1生涯を通じた女性の健康支援	III-1-1健康づくりの意識啓発と健康管理の推進	各種検診の受診率向上と予防対策の充実	保健センター	A	市独自策として、がん検診及び特定健診(健康診査)の対象年齢を引き下げ、性別に関わらず若い世代からの健康管理に取り組める機会としている。○胃・肺・大腸・乳がん検診、健康診査 延人数360人	3	2	若い世代から健康管理に取り組む機会となるよう引き続き取り組みを続ける	3	2	子どもを連れていけるように工夫をすれば人数も増えるのではないと思う。 ・医療被曝の影響も心配であるので各種検診においては放射線を利用しない検診も選択にあるとよい。 ・各種検診の受診率の推移が分かるデータ数値を提示してもらえるとありがたい。市職員・市民対象者問わず受診率向上に向けての対策強化が望まれる。 ・今後も充実した取り組みを続けてもらいたい。 ・WG評価と同様。	3	2	1次評価のとおり
41	13	III	III-1生涯を通じた女性の健康支援	III-1-1健康づくりの意識啓発と健康管理の推進	スポーツ・レクリエーションの場の提供	スポーツ・合宿推進課	B	就学前のお子さんを持つ子育て世代をターゲットとしたスポーツイベント「ファミリー・フィットネスフェスタ」及び「ファミリー・フィットネス」を定期的に実施したところ、母親の参加が多かった。女性のスポーツを通じた健康づくりの機会の拡大に繋がった。	3	2	子育て世代をターゲットとした取り組みによるスポーツ・健康増進は、当市の掲げる健康都市宣言に寄与するものであり、引き続き男女がともに関われる機会提供を推進すべき。	3	2	・成人女性が夜、仕事が終わって参加できるスポーツイベントやスポーツ教室が少ないと感じている。また、高齢者が参加できる筋トレ教室などを少なくとも週3回程何らかの形で開催していただくと高齢者の健康維持に貢献できると思う。 ・市職員・市民対象者問わず参加率向上に向けての対策強化が望まれる。 ・今後も充実した取り組みを続けてもらいたい。 ・WG評価と同様。	3	2	引き続き市民が参加できる機会の拡充に努めていく。 ・今後参加数の数値を示す。
42	14	III	III-2生涯を通じた女性の健康支援	III-2-1健康づくりの意識啓発と健康管理の推進	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ・合宿推進課		事業No.41と統合									
43	15	III	III-1生涯を通じた女性の健康支援	III-1-2女性の健康支援	市職員における女性職員及び配偶者への検診助成	総務課	A	女性職員及び配偶者に対して、女性特有の疾患に対して、共済組合の制度を活用した検診助成制度を有しており、受診を進めている。	1	1	特定保健診査受診の推奨、子宮がん及び乳がん検診の受診券についての課内回覧などが行われているが、配偶者への周知をより徹底していただきたい。	2	1	・周知不足であることは問題である。受診が強要にならないような受診機会の周知を望む。 ・配偶者の受診率向上は自分の職場が所属する健保組合でも言われている。WG評価と同様。 ・市職員・市民対象者問わず受診率向上に向けての対策強化が望まれる。 ・配偶者には直接郵送などで周知して、確実に情報が届くようにするなどして受診を勧めほしい。 ・配偶者の検診助成について案内するハガキを受け取ったことがあるが、良い取組だと感じた。引き続き工夫した取組を望む。	1	1	・共済組合の福祉協会助成制度に基づくものであり、年間の受診可能人数に限りがあることから、効果的な周知方法について検討いたします。
44	16	III	III-1生涯を通じた女性の健康支援	III-1-2女性の健康支援	がん検診の受診促進	保健センター	A	男性と比べ職場検診等の少ない女性に、女性特有のがん(子宮・乳がん)及び大腸がんについて一定の年齢の対象に無料で受診できる機会を提供している。 ○乳・子宮・大腸がん検診 延人数519人	3	2	検診を受ける習慣のない人たちもいるため、事業が検診を受ける習慣づけの機会となるよう取り組みを続ける。	3	2	・地域の保健推進委員にPRしてもらうと良い。 ・市職員・市民対象者問わず受診率向上に向けての対策強化が望まれる。 ・今後も充実した取り組みをお願いしたい。 ・WG評価と同様。	3	2	1次評価のとおり
45	17	III	III-1生涯を通じた女性の健康支援	III-1-2女性の健康支援	出産と母体の大切さに関する教育の推進	市立総合病院	A	病院内で、出産に向けた母親教室(月2回:第2・4火)を開催。夫婦のみならず、祖父母も対象。 【H29実績】 24回開催(母乳育児コース12回・分娩コース12回) 243人参加(祖父含む 295人)	3	2	母親教室の開催は、里帰り出産を含めて参加体制の確保がされており、引き続き幅広い参加ができる体制を追求すべき。	3	2	・参加経験はあるが「母親」の名称ゆえに父としては参加に多少のためらいがあった。「母親教室」に代わるよい名称を望む。 ・今後も充実した取り組みをお願いしたい。 ・母親教室は市立病院、保健センターのほか民間にもいくつか取り組みがあるが、父親や両親対象のものは機会が少ないか、あっても参加が少ないのではないかと、こちらの充実にも期待したい。 ・WG評価と同様。	3	2	1次評価のとおり
46	18	III	III-1生涯を通じた女性の健康支援	III-1-2女性の健康支援	安心して出産できる環境整備	市立総合病院	A	病院にはNICU病棟(3床)が稼働し、LDRを利用した出産も行われ、安心して出産できる環境が整備されている。また、産後うつ予防や新生児への虐待予防を目的に、平成30年10月より毎週2回(水・金)産後2週間健診を実施している。 【H30実績】 19人受診 ※H30/11/28日現在	2	1	NICU病棟やLDRが活用できる充実した設備をよりアピールすべく、積極的な広報活動の推進が求められる。	2	1	・社会的に問題になっていることであり、事業の意義は大きい。 ・設備について周知があれば活用がしやすい。まずは皆さんによく知っていただくことが大切である。 ・病院までの交通手段の支援や産前・産後気軽に相談できる体制の充実もお願いしたい。 ・WG評価と同様。	2	2	・NICU及びLDRについては、順調に稼働している。 ・小児科・産婦人科医師及び助産師等のスタッフ配置は、道内の同規模病院と比較しても十分な配置がなされており、医師についてはこれ以上の増員は困難であり現状維持が適当。(現在小児科7名、産婦人科7名の医師を配置) ・医療法第6条の5により、病院は広告の規制対象である
47	19	III	III-1生涯を通じた女性の健康支援	III-1-2女性の健康支援	医療機関との連携強化による各種母子保険事業の充実	市立総合病院	A	乳幼児健診及びBCG接種には医師派遣が行われており、その他の予防接種についても個別接種の導入により適切な時期に接種可能な環境が整っている。 【H29実績】 43回派遣(乳幼児23回・1・6・3歳児健診20回)	3	2	インフルエンザを含む感染症対策は、子どもを産み育てる環境整備として重要であり、引き続き環境整備の充実をはかるべき。	3	2	・ワクチンを接種しても基本的予防は必要であることから、うがいや手洗いによる基本的な予防方法についても周知が必要である。 ・引き続き母子保健の充実をお願いしたい。 ・WG評価と同様。	3	2	1次評価のとおり